2024年12月2日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
14115 (従来システム 6431)	サイトメガロウイルス核酸定量

サイトメガロウイルス(Cytomegalovirus:CMV)感染症は、先天性 CMV 感染症、幼児期を中心に感染する後天性 CMV 感染症、臓器移植など免疫抑制剤投与患者における日和見感染による CMV 感染症があります。特に移植患者では CMV 感染症は極めて注意を要する合併症の一つであり、CMV 感染症の早期診断や早期治療の重要性が認識されています。

欧米を中心とした諸外国ではリアルタイム PCR 法による核酸定量検査(QNAT 法)を用いた CMV-DNA 検査が主流ですが、日本国内では CMV 検査はアンチゲネミア法が主に用いられています。しかし、CMV 感染症の予防的治療薬が保険適用されるなど新たな治療法が導入され、CMV-DNA 検査のニーズが急速に高まっています。

本検査により血漿中の CMV-DNA を検出し、CMV 感染症を早期にかつ迅速に診断することが可能となります。

【開始時期】 2024年12月9日(月) ご依頼分より

【受託要領】

コードNo.	14115(従来システム 6431)
検査項目名	CMV核酸定量
採取容器	46 (ウイルス遺伝子検査用(血漿))
保存方法	冷蔵(開封厳禁)
検査方法	リアルタイムPCR
基準範囲	検出せず
単位	IU/mL
所要日数	3～5日
報告範囲	検出せず <34.5+ 34.5～99.9 100～10000000 1000万超
検査実施料/判断料	450点 / 微生物学的検査 150点
	以下のいずれかに該当する場合に算定する。 ア 臓器移植後若しくは造血幹細胞移植後の患者、HIV感染者又は高度細胞性免疫不全の患者に対して、サイトメガロウイルス感染症の診断又は治療効果判定を目的として行った場合。ただし、高度細胞性免疫不全の患者については、本検査が必要であった理由について、診療報酬明細書の摘要欄に記載する。 イ 症候性先天性サイトメガロウイルス感染症患者に対して、治療効果判定を目的として行った場合。
備考	汚染の影響を受けやすい検査法のため、他項目との重複依頼は避けて単独検体でご提出ください。 採血後遠心分離し、血球成分と血漿を確実に分離して、冷蔵保存にてご提出ください。

●CMV 核酸定量の結果表示

増幅反応シグナルを検出しなかった場合	検出せず
34.5 IU/mL(定量下限値)未満で、増幅反応シグナルを検出した場合	<34.5+
測定範囲内で結果を得た場合	34.5～10000000
10000000 IU/mL(定量上限値)を超えた場合	1000万超

《参考文献》

森 沙耶香, 他:医学と薬学 77, 1181～1188, 2020.

日本造血・免疫細胞療法学会:造血細胞移植ガイドライン サイトメガロウイルス感染症(第5版補訂版)2024年9月

以上